

釜石市は「2050年までに二酸化炭素排出実質ゼロを目指す」 ことを表明します

近年、世界各国、日本全国各地で猛暑、大型台風、豪雨などの異常気象が発生しております。当市でも、令和元年の台風19号による甚大な被害を受けたことは記憶に新しいところであります。

このような異常気象発生の要因として、温室効果ガスの排出がもたらす地球温暖化が気候変動を引き起こすものと考えられております。

気候変動問題は、国際社会が一体となり取り組むべき重要な課題であります。国連気候変動枠組条約締約国会議（COP21）において、2015年「パリ協定」が採択され、各国が削減目標を提出することが義務付けられましたが、地球温暖化には歯止めがかかっておりません。

令和2年10月、国は「2050年までに、温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする、すなわち2050年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現を目指す。」ことを表明しました。

当市は、海、山、川などの自然環境に恵まれております。この貴重な自然環境を未来の子供たちに引き継いでいく必要があります。

市民一人ひとりが、今置かれている現状を把握し、危機感を持って行動していく必要があるため、ここに「2050年までに二酸化炭素排出実質ゼロを目指す」ことを表明し、省エネルギーの推進や、再生可能エネルギーの導入を促進し、地域経済や市民の生活の向上に向け、市民、事業者、行政が一丸となり脱炭素社会を目指して参ります。

令和3年10月29日

釜石市長 野田 武則



釜石市が「2050年までに二酸化炭素排出実質ゼロを目指す」ことを表明することについて

1 岩手県内 2050年ゼロカーボン表明自治体 (2021.9.30 現在)

	自治体名	人口 (万人)	表明日	表明方法
1	岩手県	128	2019/11/27	定例記者会見
2	久慈市	3.5	2019/12/2	}
3	二戸市	2.7	2019/12/2	
4	洋野町	1.6	2019/12/2	}
5	一戸町	1.2	2019/12/2	
6	軽米町	0.9	2019/12/2	会見
7	葛巻町	0.6	2019/12/2	}
8	九戸町	0.5	2019/12/2	
9	野田村	0.4	2019/12/2	}
10	普代村	0.2	2019/12/2	
11	八幡平市	2.6	2020/2/19	施政方針
12	宮古市	5.7	2020/11/11	HP 掲載
13	一関市	12	2021/2/22	施政方針
14	紫波町	3.3	2021/3/8 (報告日)	施政方針

※参考・・・全国では464自治体が表明

2 各市町村の主な取組例

- 地域資源の好循環に向けた再エネ由来のポテンシャルを最大限に活用 (岩手県)
- 他市との広域連携により、地域循環共生圏の形成を目指す。(県北9市町村)
- 地球温暖化対策実行計画(区域施策編)に温室効果ガス実質排出ゼロを盛り込む(久慈市)
- メガソーラー、大型風力、洋上風力の設置計画の推進によるエネルギー地産地消(洋野町)
- メガソーラー発電事業、バイオマス発電 (軽米町)
- 環境基本計画にゼロカーボンに取り組むことを盛り込む (八幡平市) など

3 取組内容

- 「釜石市環境基本計画」(令和5年3月策定予定)及び「地球温暖化対策実行計画(区域施策編)」(令和5年3月策定予定)に「2050年までに二酸化炭素排出を実質ゼロにすること」を盛り込む。
- 具体的な取り組み内容については、今後検討していく。

※取り組み参考例

- 水力、バイオマス、風力、太陽光を生かした再生可能エネルギーの活用
- スマートコミュニティのようなデジタル技術を活用した電気のネットワーク化
- グリーン・ブルーカーボンクレジットの活用
- 3R(リデュース、リユース、リサイクル)の推進、省エネの促進など